

## 海陽町災害対策支部用アクションカード作成業務 仕様書

### 【業務の目的】

地震・津波災害はいつ発生するか予測することが困難である。特に、役所等の災害対応能力が充実した昼間でなく、夜間や早朝等、役場内に職員が在席していない時間帯に発災した場合、災害対策支部の設置について知識を有する防災担当職員の参集が遅れる、もしくは物理的な理由等により参集できないなどの理由により、災害対策支部の設置ができず、その後の災害対応に支障をきたす恐れがある。

そこで、本町では、最初に到着した職員が“だれであっても”記載の内容に従って、災害対策支部の設置まで対応することができる指示書（以降、『海陽町災害対策支部用アクションカード』という）を作成することで、発災後の迅速な災害対策支部の設置を目指すものとする。

### 【業務内容】

#### （1）計画準備

業務着手にあたり、業務の目的・主旨を十分に理解したうえで、業務遂行に必要となる実施方針や実施スケジュール等をまとめた業務計画書を作成し、監督職員に提出する。

#### （2）アクションカードたたき台の作成

##### 1) たたき台の作成

先進事例の収集を行うとともに、まちの災害リスクや現状の防災体制等を踏まえて、支部設置場所への到着時から、災害対策支部設置までの作業内容を記載した、海陽町災害対策支部アクションカード（たたき台）を作成する。なお、アクションカード（たたき台）に記載する災害対策支部設置までの作業内容については、発注者と協議の上、決定する。

##### 2) 掲載資料のとりまとめ

アクションカード（たたき台）は写真やイラスト等を用いて、最初に参集した職員が正確に対応を理解できるよう工夫を行う。なお、災害対策支部設置のプロセスを伝えるために利用する写真については、発注者協力の基、実際に使用する会議室や資機材を用いるものとする。

#### （3）訓練による実効性検証

##### 1) 訓練の企画運営

作成したアクションカード（たたき台）を確認しながら、役場職員が実際に災害対策支部設置までを体験する訓練の企画・運営支援（記録含む）を行う。訓練参加者は町が選定する。

##### 2) 課題の抽出・修正事項の整理

訓練後には、参加者を対象とした振り返りを行い、アクションカード（たたき台）で記載が不足している点、記載が不明瞭な点等を整理する。

(4) アクションカード ver.1 の作成

(3) の結果を踏まえ、アクションカード（たたき台）の修正を行い、『海陽町災害対策支部用アクションカード ver.1』を作成する。

(5) 打合せ

本業務においては、業務着手時、中間、成果品作成時の計3回打合せを行う。受注者は打合せ後、5営業日以内に打合せ記録を作成し、監督職員へ提出する。

また、業務の進捗に応じ、監督職員と受注者の協議の上、中間打合せの追加など回数を変更できるものとする。

(6) 業務報告書の作成

(1) から(5)の内容をとりまとめ、業務報告書を作成する。

【成果品】

- ・業務報告書（A4版 両面カラー印刷 リングファイル綴じ） . . . 1部
- ・海陽町災害対策支部用アクションカード ver.1（ラミネート加工、1穴リング綴じ） . . . 3部
- ・検討結果電子データー式（DVD） . . . 1部